

# CASBEE® 熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	JA阿蘇 中部地区野菜集選果施設	階数	地上2F		
建設地	阿蘇市小野田字馬ノ跡74番1の一部	構造	S造		
用途地域	指定無し	平均居住人員	60 人		
気候区分	5地域	年間使用時間	3,000 時間/年		
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2015年9月24日		
敷地面積	8,206 m <sup>2</sup>	作成者			
建築面積	2,438 m <sup>2</sup>	確認日	2015年9月24日		
延床面積	4,537 m <sup>2</sup>	確認者			

## 1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

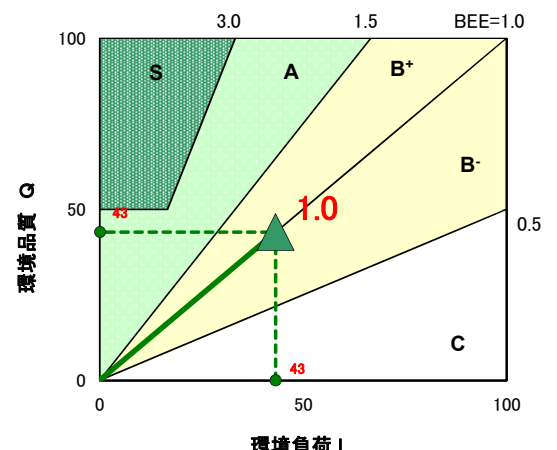
★★★★★

BEE = 1.0

■ BEE(環境効率) =  $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—



■ ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出性能 (ランク表示)

排出率

#DIV/0!

■ ライフサイクルCO<sub>2</sub> 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

## 2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価

熊本県重点評価基準

評価点

79

重点事項	評価点
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	87.5
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	61.6
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	85.7
【重点事項4】 循環型社会の実現	74.1

■ 熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	★★★★★
80点以上100点未満	★★★★
60点以上80点未満	★★★
40点以上60点未満	★★
40点未満	★

※評価点は、100点以上が推奨です。

# CASBEE®熊本《新築》 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	JA阿蘇 中部地区野菜集選果施設	階数	地上2F
建設地	阿蘇市小野田字馬ノ跡74番1の一部	構造	S造
用途地域	指定無し	平均居住人員	60 人
気候区分	5地域	年間使用時間	3,000 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2015年9月24日
敷地面積	8,206 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	2,438 m <sup>2</sup>	確認日	2015年9月24日
延床面積	4,537 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 0.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

### 3 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価 評価点 = 79

重点事項1: 温室効果ガス排出削減の推進 評価点 = 87.5

重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 評価点 = 61.6

重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全 評価点 = 85.7

重点事項4: 循環型社会の実現 評価点 = 74.1

#### 重点事項の評価(レーダーチャート)

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# CASBEE<sup>®</sup>熊本《新築》【配慮事項】

## 4 設計上の配慮事項

### 総合

環境に配慮し、敷地の広さを利用した余裕のある形状とし、シンプルで周辺に影響の少ない建物として計画しました。

### Q1 室内環境

内装材は全て基準をみたく、対象外またはF☆☆☆☆を採用し化学汚染物質被害を防止します。

### Q2 サービス性能

維持管理の省力化を図るために耐久性の高い屋根・外壁材を採用します。

### Q3 室外環境（敷地内）

周辺環境に配慮した低層でシンプルな建物形状としました。

### LR1 エネルギー

LED照明を採用し、省エネに配慮します。

### LR2 資源・マテリアル

自動水栓を採用し水資源の保護に努めます。

### LR3 敷地外環境

光害対策のために広告用照明の設置を行いません。

### その他

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>								
<b>1 音環境</b>								
1.1 騒音								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能								
2 界壁遮音性能								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音								
<b>2 温熱環境</b>								
2.1 室温制御								
1 室温								
2 外皮性能								
3 ゾーン別制御性								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
<b>3 光・視環境</b>								
3.1 昼光利用		昼光率:5.8%(事務室)						
1 昼光率								
2 方位別開口								
3 昼光利用設備								
3.2 グレア対策								
1 昼光制御								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
<b>4 空気質環境</b>								
4.1 発生源対策		F☆☆☆☆以上						
1 化学汚染物質								
2 物理汚染物質								
4.2 換気								
1 換気量								
2 自然換気性能								
3 取り入れ外気への配慮								
4.3 運用管理								
1 CO <sub>2</sub> の監視								
2 喫煙の制御								
<b>Q2 サービス性能</b>					0.43			<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>								
1.1 機能性・使いやすさ								
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 バリアフリー計画								
1.2 心理性・快適性		事務室の天井高=2.7m 執務スペース1%以上の休憩室						
1 広さ感・景観								
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画								
1.3 維持管理		②~④・⑥・⑧・⑩対策有り						
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
3 安全確保								
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.2</b>	0.50			<b>3.2</b>
2.1 耐震・免震				<b>3.0</b>	0.50			
1 耐震性				3.0	0.80			
2 免震・制振性能				3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.4</b>	0.30			
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		B以上使用、E不使用		5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.4	0.20	[Cross-hatch pattern]	-	-
	2	給排水・衛生設備	節水タイプの小便器、多数の分岐バルブ設置。	3.0	0.20			
	3	電気設備		4.0	0.20			
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
	5	通信・情報設備	WiFiなどによる、通信手段の多様化	3.0	0.20			
	5	通信・情報設備	WiFiなどによる、通信手段の多様化	4.0	0.20			
3 対応性・更新性				3.5	0.50			3.5
3.1 空間のゆとり				4.6	0.30			
	1	階高のゆとり	選果場:階高5.6m	5.0	0.60	[Cross-hatch pattern]	-	-
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.11	4.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30			
3.3 設備の更新性				3.2	0.40			
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	[Cross-hatch pattern]	-	-
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
	6	バックアップスペースの確保	キュービクル更新用のスペースを確保	4.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.57			2.2
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	[Cross-hatch pattern]	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	[Cross-hatch pattern]	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	[Cross-hatch pattern]	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	[Cross-hatch pattern]	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	[Cross-hatch pattern]	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-			3.2
LR1 エネルギー				-	-			-
1 建物外皮の熱負荷抑制				[Cross-hatch pattern]	-	[Cross-hatch pattern]	-	-
2 自然エネルギー利用				-	-	[Cross-hatch pattern]	-	-
3 設備システムの高効率化				-	-	[Cross-hatch pattern]	-	-
	集合住宅以外の評価(3a,3b)		高効率設備	-	-	[Cross-hatch pattern]	-	-
	集合住宅の評価(3c)			[Cross-hatch pattern]	-	[Cross-hatch pattern]	-	-
4 効率的運用				-	-	[Cross-hatch pattern]	-	-
	集合住宅以外の評価			-	-	[Cross-hatch pattern]	-	-
	4.1	モニタリング		-	-	[Cross-hatch pattern]	-	-
	4.2	運用管理体制		-	-	[Cross-hatch pattern]	-	-
	集合住宅の評価			[Cross-hatch pattern]	-	[Cross-hatch pattern]	-	-
	4.1	モニタリング		[Cross-hatch pattern]	-	[Cross-hatch pattern]	-	-
	4.2	運用管理体制		[Cross-hatch pattern]	-	[Cross-hatch pattern]	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.50			2.9
1 水資源保護				3.4	0.20	[Cross-hatch pattern]	-	3.4
	1.1 節水		節水コマ、節水型便器の利用。	4.0	0.40	[Cross-hatch pattern]	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	[Cross-hatch pattern]	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	[Cross-hatch pattern]	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	[Cross-hatch pattern]	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.8	0.60	[Cross-hatch pattern]	-	2.8
	2.1 材料使用量の削減			2.0	0.14	[Cross-hatch pattern]	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	-	[Cross-hatch pattern]	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.29	[Cross-hatch pattern]	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.29	[Cross-hatch pattern]	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	[Cross-hatch pattern]	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		分別しやすく、交錯しない(軽鉄天井・壁)	5.0	0.29	[Cross-hatch pattern]	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	[Cross-hatch pattern]	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	[Cross-hatch pattern]	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	[Cross-hatch pattern]	-	
	1	消火剤		-	-	[Cross-hatch pattern]	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	[Cross-hatch pattern]	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	[Cross-hatch pattern]	-	
LR3 敷地外環境				-	0.50			3.5
1 地球温暖化への配慮			高効率設備	-	-	[Cross-hatch pattern]	-	-
2 地域環境への配慮				3.6	0.50	[Cross-hatch pattern]	-	3.6
	2.1 大気汚染防止		燃焼機器なし。	5.0	0.25	[Cross-hatch pattern]	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	[Cross-hatch pattern]	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	[Cross-hatch pattern]	-	
	1	雨水排水負荷低減		-	-	[Cross-hatch pattern]	-	
	2	汚水処理負荷抑制		-	-	[Cross-hatch pattern]	-	
	3	交通負荷抑制	十分な敷地あり。	5.0	0.50	[Cross-hatch pattern]	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.50	[Cross-hatch pattern]	-	
3 周辺環境への配慮				3.4	0.50	[Cross-hatch pattern]	-	3.4
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-	[Cross-hatch pattern]	-	
	1	騒音		-	-	[Cross-hatch pattern]	-	
	2	振動		-	-	[Cross-hatch pattern]	-	
	3	悪臭		-	-	[Cross-hatch pattern]	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.67	[Cross-hatch pattern]	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	[Cross-hatch pattern]	-	
	2	砂塵の抑制		[Cross-hatch pattern]	-	[Cross-hatch pattern]	-	
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	[Cross-hatch pattern]	-	
	3.3 光害の抑制			4.4	0.33	[Cross-hatch pattern]	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインの過半を満足	5.0	0.70	[Cross-hatch pattern]	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	[Cross-hatch pattern]	-	

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 JA阿蘇 中部地区野菜集選果施設 新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果					総合評価点		79
重点事項					評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数				
① 温室効果ガス排出量削減の推進					87.5	0.40	35.00
Q1-2.1.2	外皮性能	0.0	0.00				
Q1-3.1.3	昼光利用設備	0.0	0.00				
Q1-3.2.1	昼光制御	0.0	0.00				
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	0.0	0.00				
LR1-2	自然エネルギー利用	0.0	0.00				
LR1-3	設備システムの高効率化	0.0	0.00				
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.50				
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	5.0	0.50				
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現					61.6	0.20	12.32
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	0.0	0.00				
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.33				
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.20				
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.27				
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.20				
③ 県の地域資源の有効活用と保全					85.7	0.20	17.14
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.29				
LR2-1.1	節水	4.0	0.43				
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.29				
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.00				
④ 循環型社会の実現					74.1	0.20	14.82
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.4	0.33				
Q2-3	対応性・更新性	3.5	0.33				
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	0.0	0.00				
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.17				
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.17				

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数)の総和  
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数)の総和 × (5/4) × 20  
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数